



立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

立教大学体育会ゴルフ部

巻頭言：若い芽を育てる

寒さ厳しき折、OB会会員の皆様にはますます健勝のこととお喜び申し上げます。

さて体育会ゴルフ部OB会は常任・学年各幹事会の下に現役強化・総務・企画・会計・広報の5委員会を持つ新制度を採用して2年が経とうとしております。各委員会において若い会員達が積極的に活動し、組織の活性化に大きく寄与しております。

現役強化に関して、昨年掲げた長期的視野に立った強化方針に則り、その成果が徐々に現れつつあります。日本のゴルフ界全体でジュニアゴルファー育成が叫ばれるなか、昨年7月日本ゴルフトアーモンディー主催により、「スナッグゴルフ」の全国大会が開催されました。平成14年より現役強化委員会メンバーをはじめとするOB会有志が、立教小学校の児童に授業の一環としてスナッグゴルフを教えてきましたが、彼らの選抜チームがこの記念すべき第1回大会を優勝する快挙を成し遂げました。

小さい頃からゴルフを親しみやすい、楽しいスポーツと認識してもらうことが今後のゴルフ界活性化の鍵であるならば、私どもの進んでいる方向は決して間違ったものではないと確信しております。と同時に大学ゴルフ部の敷居が低くなり、より目的意識の高いプレーヤーを獲得・育成することが可能になるであろうと考えております。

立教池袋中学・高校におけるゴルフ部の設立、立教ゴルフ部専用練習場の建設等、私どもが達成すべき課題はまだまだ山積しておりますが、OB会の果たすべき役割は以前にも増して大きなものになりつつあります。会員の皆様のより一層のご協力を賜り、更にはOB総会に多くのOB・OGがご出席くださることをお願い申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。



会長 佐野 公胤
(昭和41年卒)

平成15年度立教大学体育会ゴルフ部OB会会報 目次	
立教大学体育会ゴルフ部部長ご挨拶	2
平成15年度対抗戦を振り返って	2
平成15年度競技会結果	4
平成15年度幹部ご挨拶	5
平成16年度新主将ご挨拶	7
立教小学校：第1回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ優勝を振り返る	8
平成15年度立教大学体育会ゴルフ部OB会総会議事録	9
OB会費納入の現状とお願い	10
平成15年度立教大学体育会ゴルフ部OB会コンペ結果	12

立教大学体育会ゴルフ部部長 ご挨拶

明けましておめでとうございます。

いきなり私事で恐縮ですが、昨年のラウンド数は僅か2回に留まりました。内、1回はゴルフ離れに見かねたOB会先輩諸兄に連れ出されてのラウンドでしたが、そのようなエセ・ゴルファーの私にとりましても、お連れ頂いた東京ゴルフ俱楽部はゴルフの精神を感じさせる本物の空間でありました。コース自体は戦後の建設のようですが、戦前からの伝統の持つ味わいは格別で戦後派コースとは別格の存在だと感じ入った次第です。



体育会ゴルフ部部長
田代 泰久教授

野球場でも甲子園を上回る存在は在りません。否、昨今的人工芝と屋根付のドームは本来の球場とは異質のモノです。本学池袋キャンパスを見ましても、戦後の校舎に比べ本館をはじめ昔の建物からは先人の気合が直接伝わる気がしますが、これはどの大学にも当てはまる傾向のように思われます。他にもオフィスビルから住宅に至るまで、類似の例は多数見られます。ある建築家の表現を借用して申せば、昨今のツルツル・ピカピカの都心再開発に古びて美しくなる予感はありません。21世紀になっても、経済性と機能性しかない戦後の安普請体质から脱却できない事と日本の経済社会の停滞とは無縁ではなさそうな気が致します。

脱線ばかりのご挨拶となりました。

昨年は、男子のブロック降格、女子の昇格、小学校のスナックゴルフ全国制覇と、言うなれば出入りの激しい年でした。部員の皆さんからの賀状をみると気合は十分、今年は二拍子、三拍子揃った年となる予感が致しますところ、諸先輩方の一層のご支援をお願い申し上げます。

平成15年度関東大学対抗戦を振り返って

《 春季男子Bブロック対抗戦 》 結果...第6位



監督 青木 克益
(昭和63年卒)

昨年Bブロック昇格の原動力となったレギュラーの大半が抜け、厳しい状況の中、今年の対抗戦をむかえることとなったわけですが、このような状況はなにも急にわかったわけではなく、予想はできることであります。よって昨年、一昨年はAブロック昇格を考えながらも、このレギュラー陣が抜けた穴をどう埋めるか、B残留の為に下の学年をどう伸ばしていくか、私やコーチ陣そして卒部していった4年生達といつも考えていた毎日がありました。特に昨年卒部した4年生には個人戦を辞退してもらい、対抗戦の一部をも辞退してもらう等により、とにかく下級生に多く試合に出るチャンスを与えてきました。また、合宿の方法までも変更し、より多くのラウンドさせる方法を考えてきました。

そして今回の対抗戦、私としてはそれなりに実力をつけ、どうにか戦えるメンバーをぎりぎりで揃えてきたつもりでした。しかし結果は数字で表され、成長していないという現実を突きつけられてしまう結果になりました。

残念ながら来季からまたCブロックです。このCというブロックは私が最も多く経験したブロックであり、このブロックの大変さは理解しているつもりです。8校の中にもスポーツ推薦入学を行っている大学が多数あり、毎年突如として強い大学が現れたりします。また、コースにもよりますが、基本的に77ストローク台を出さないと優勝することができません。さらに7位・8位の2校がDブロックに降格することから、一步間違えるとDへの転落もあり得る激戦ブロックであります。早く実力をつけ、再び5日間の

マッチプレーを行うこのBブロックの舞台に戻ってきたいと強く願うものであります。

《 秋季男子Cブロック対抗戦 》 結果…第4位

優勝は戦前の予想通り早稲田大学でした。その実力は他校を圧倒していました。

Cブロックの優勝ラインである77ストローク台を大きく上回り、74ストローク台の優勝となったわけですが、本学も前回の対抗戦からあまり時間がない中でよくコンディションを上げ、本来ならばCブロックの優勝ラインである77ストローク台という結果を残せたのは大変有意義だったと思います。特に4年生の健闘は目を見張るものがありました。内山が、林が、小野が、そして長田が、隣のホールに球を曲げてもそこから必死の思いでパーをとり、グリーンを外しても粘っこいアプローチでパーを拾う場面が何度もありました。ゴルフの実力はたしかに大したことはないかもしれません、本人が持てる最高の集中力を1打1打にこめてプレーを続けることができたのではないかと思います。

60台を出すのは、確かに実力がないかも知れません。しかし4年間真面目にゴルフに取り組み、あの厳しい本学の合宿を経験し身に付けてきた精神力があれば、それだけで80を切ることはどうにか出来るのではないかでしょうか。そんなことを感じさせられる彼等のプレーぶりでした。そしてこのプレーを間近で見ていた下級生にも彼等4年生のプレーぶりはきっと心の中に残ったことだろうと思います。

《 春季女子Cブロック対抗戦 》 結果…第2位

2日間全てが終了し、優勝した聖心女子大学との差は1打。もし同スコアならばスコア勝負で立教の優勝でした。選手として監督として、何度同じ場面に遭遇したことだろうか…。

ゴルフというスポーツにおいて、1打の重みは何度経験しても悔しく、本当に辛いものです。あのショットが、あのアプローチが、あのパットが決まっていれば勝てたのに。外から見ていると、そんな1打が確かにたくさんありました。ただ、本学の選手は1打1打を真剣にプレーしていたことは確かです。「1打の重み」をまた思い知らされることになったわけですが、ゴルファーである以上この思いは何度も経験しなければいけないものであり、この試練を乗り切って強くなるのでしょうか。レギュラーの一人が最後の挨拶でこう言いました…「この悔しさを秋に向け、秋にはぶっちぎりで優勝したいと思います」

明日にでも次の対抗戦をやりたい！そんな気持ちで対抗戦会場を後にしました。

《 秋季女子Cブロック対抗戦 》 結果…優勝

優勝は立教に間違いない！という評判のもと乗り込んだ今回の対抗戦。初日が終わってみると、なんと川村学園と同ストローク。1打差で負けた春の対抗戦を皆は思い出し、当然ながら初日が終わった選手の顔に笑顔はありませんでした。そして『絶対に優勝したい！春の二の舞はごめんだ！』という強い意志のもと、最終日に臨みました。

最終日のプレーは、外から見ていると選手全員に共通している点がひとつ、ハッキリとわかりました。それは、一打一打を大切にプレーしていることです。ゴルファーならあたり前のことですが、彼女らのプレーには今まで以上に大切にしているという姿を感じることができました。その中でも特に4年生は最後のゴルフというものを惜しむように、一打を大事に大事にプレーしていたのが印象的でした。4年島田が自身のベストスコアでラウンドしてきました。主将の武藤は話し掛けること、近づくことすらできないほどのオーラを放ちながらゴルフをしていました。この精神力の強さは、立教大学体育会ゴルフ部が展開している厳しい合宿から学んだことであるに違いありません。

その後表彰式を終え、全部員で場所を私の会社に移動して祝勝会を



行ったわけですが、あの張り詰めていた昼間の光景は嘘のようなはしゃぎぶりをそこで見ることができました。1打差で負けた春の対抗戦以来、ずっと心の中にしまってきました悔しい思いを今度は何倍にも喜びとし発散していました。あの春の悔しさは部員をさらに強くしたに違いありません。スポーツは、負けて悔しい思いをすることが逆に向上するためのチャンスでもあるということを改めて確認した私でした。

O B・O Gの皆様、ご声援誠にありがとうございました。男子に先んじて、立教大学体育会ゴルフ部女子は、B ブロックに帰って来ましたことを報告させて頂きます。

平成 15 年度関東大学男子春季B ブロック対抗戦

平成 15 年 5 月 21 日(水)~22 日(木) 於 東ノ宮カントリークラブ 6861yards Par72
2日間 36 ホールストロークプレー。10 人エントリー、8 人出場、上位 7 人のトータルスコアで順位を決定。
優勝校はA ブロック昇格 6 位校はC ブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	駒澤大学	548	545	1093
2	法政大学	557	562	1119
3	拓殖大学	567	584	1151
4	中央大学	572	589	1161
5	東洋大学	588	588	1176
6	立教大学	588	604	1192

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	おばな	さつき	TOTAL	おばな	さつき
基野(2年)	39	41	80	42	41	83
佐々田(3年)	44	43	87	42	50	92
長田(4年)	48	43	91	47	47	94
石川(1年)	43	41	84	47	43	90
林(4年)	45	45	90	43	45	88
小野(4年)	39	42	81	40	42	82
松井(4年)	51	49	100	-	-	-
内山(4年)	36	39	75	40	39	79
跡地(4年)	-	-	-	43	47	90
西尾(2年)	-	-	-	-	-	-

優勝した駒澤大学は秋季対抗戦A ブロック昇格
6位となった立教大学はC ブロック降格

平成 15 年度関東大学男子秋季C ブロック対抗戦

平成 15 年 8 月 21 日(木)~22 日(金) 於 サザンヤードゴルフクラブ 7017yards Par72
2日間 36 ホールストロークプレー。8 人エントリー、6 人出場、上位 5 人のトータルスコアで順位を決定。
優勝校はB ブロック昇格 7 位・8 位校はD ブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	早稲田大学	377	368	745
2	山梨学院大学	382	388	770
3	慶應義塾大学	383	389	772
4	立教大学	390	384	774
5	学習院大学	404	403	807
6	東海大学	410	398	808
7	玉川大学	403	413	816
8	横浜商科大学	440	419	859

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	おばな	さつき	TOTAL	おばな	さつき
基野(2年)	39	38	77	38	38	76
長田(4年)	44	37	81			
石川(1年)				46	42	88
林(4年)	39	41	80	39	37	76
小野(4年)	38	39	77	36	39	75
田谷(3年)	43	39	82	45	41	86
内山(4年)	40	35	75	36	35	71
西尾(2年)	-	-	-	-	-	-

優勝した早稲田大学は来年度春季対抗戦B ブロック昇格
7位、8位となった玉川大学、横浜商科大学はD ブロック降格

平成 15 年度関東大学女子春季 C ブロック対抗戦

平成 15 年 5 月 13 日(火) ~ 14 日(水) 於 サンヒルズゴルフクラブ

2 日間 36 ホールストロークプレー。5 人エントリー、4 名出場、上位 3 名のトータルスコアにより順位を決定

優勝校は B ブロック昇格 7 位・8 位校は D ブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	聖心女子大学	253	257	510
2	立教大学	252	259	511
3	川村学園女子大学	292	268	560
4	山梨学院大学	293	296	589
5	成蹊大学	308	293	601
6	共立女子大学	312	301	613
7	東京家政大学	不参加		
8	大東文化大学	不参加		

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	OUT	I N	TOTAL	I N	OUT
武藤(4年)	47	42	89	47	45	92
島田(4年)	45	41	86	40	42	82
原(3年)	38	39	77	38	47	85
菊地(3年)	52	45	97	50	46	96
中島(1年)	-	-	-	-	-	-

優勝した聖心女子大学は秋季対抗戦 B ブロック昇格

7 位、8 位となった東京家政大学、大東文化大学は D ブロック降格

平成 15 年度関東大学女子秋季 C ブロック対抗戦

平成 15 年 9 月 3 日(水) ~ 4 日(木) 於 サンヒルズゴルフクラブ

各校 5 名登録、4 名出場(18 ホールズストロークプレー)、上位 3 名のトータルスコアにより順位を決定

優勝校は B ブロック昇格 7 位・8 位校は D ブロック降格

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1	立教大学	251	247	498
2	川村学園女子大学	251	264	515
3	明治学院大学	276	284	560
4	成蹊大学	279	290	569
5	共立女子大学	285	287	572
6	玉川大学	289	291	590
7	成城大学	319	299	647
8	山梨学院大学	不参加		

個人別成績	1日目			2日目		
	名前(学年)	OUT	I N	TOTAL	OUT	I N
武藤(4年)	45	42	87	43	41	84
島田(4年)	41	38	79	43	37	80
原(3年)	42	43	85	42	41	83
菊地(3年)	52	47	99	45	46	91
伊東(2年)	-	-	-	-	-	-

優勝した立教大学は来年度春季対抗戦 B ブロック昇格

7 位、8 位となった成城大学、山梨学院大学は D ブロック降格

平成 15 年度幹部 ご挨拶

【 男子主将 】

昨年は主将の拝命を受け、監督はもとより、先輩方のご指導、ご支援のもとに何とか重責を果たす事ができましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、今後の部活動は「新主将 田谷」が率いる後輩に託す事になりますが、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

我がゴルフ部は創設以来、約半世紀の歴史を持つ伝統ある組織であります。現役学生においては、社会生活に巣立つプロセスとして、部活は学業との両立て大変意義深い活動であると思います。特にゴルフは、社会人としても一生継続できる息の長いスポーツであり、幅広い人的交流を深めることができ可能なスポーツであります。「立教大学ここにあり！」と、アピールするためにも引き続き部活動の大いなる発展が必要であると思います。

スポーツ推薦入学制度のない我が立教大学ゴルフ部の活性化を図るために、「部員数の確保」が一番のポイントであると思います。特に、女子部員数の確保は今後の大きな課題です。また男子は立教高校との連携をより一層密にし、部員を確保し、切磋琢磨する事も重要です。

このような環境下でも、目標は「男子は C から B ブロックへ昇格」また「女子は B から A へ昇格」の高



4 年 内山 俊男

い目標を掲げ、継続してチャレンジする事が大切です。その結果として、満足できる成果がついてくるものと信じております。

私を含めた4年生部員は引退致しますが、今後は先輩OB・OGとともに機会あるごとに微力ではございますが、後輩の指導と支援に務めて参りたいと考えております。

最後にゴルフ部並びに関係者ご一同様の益々のご発展とご健勝を祈念致しましてご挨拶とさせていただきたいと存じます。

主将在任中のご指導並びにご支援、誠にありがとうございました。

【 女子主将 】

1年前私が女子主将に就任した時、3つの目標を立てました。Bブロック昇格、新入部員をたくさん入れること、練習環境を整えることです。

Bブロック昇格は、秋季対抗戦で達成されました。女子部員数は、残念ながら増やすことができませんでした。目標を果たせず申し訳ありませんが、後輩達に託したいと思います。練習環境の構築に関しては、女子の全体練習の場所を比較的池袋に近い王子駅前に変え、教えて頂ける方を探していたところ、OBの菅さん、原さん、中島さんが春からずっと見てくださいました。ちょっとしたアドバイスでかなり良くなり、自分達だけの練習より断然上達が早いので、OBの方々には大変感謝しています。ありがとうございました。

今後のゴルフ部について考えたとき、女子部員が少ないことが一番心配です。現役ゴルフ部のみなさん、今年は例年以上に女子新入生を勧誘し、たくさん入部させて下さい！宜しくお願ひします。

私は、ゴルフ部で4年間とても充実した学生生活を送りました。青木監督始め、ゴルフ部を支えてくださっているOB・OGの方々のお陰だと思います。大変お世話になりました。また、今までお世話になった先輩方、同期のみんな、後輩のみなさん、どうもありがとうございました。今後はOGとして、現役ゴルフ部を支えていきたいです。



4年 武藤 可奈子

【 日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟委員長 】

今年度日本学生ゴルフ連盟委員長の長田昌也です。昨年の12月31日を以って委員長の任期を終え、無事次の代への引継ぎも終了しました。



4年 長田 昌也

1年間、学連の委員長を務めてきて、私なりに色々と感じたことがあります。それは試合に出場している学生が、「選手」としての自覚が足りないことです。自分が試合を運営していると必ず起こるトラブルは、ゴルフルールに関するものでした。選手からルールのことで呼び出され駆け付けてみると、ラテラル・ウォーター・ハザードの処置がわからない、誤球の処置がわからないなど多々ありました。自分からしてみれば「そんなことも知らないの？」と叫びたくなるようなことばかりでした。何のためにスタートの前にルールブックを確認しているのかがわかりませんでした。その点を考えると立教大学体育会ゴルフ部はマナーに厳しく、ルールを覚えて活用する。このことに自分は誇りに思いますし、他の人に自慢しても良いと思います。当然のことだと思いますが、その当たり前のことができない選手が多いのは事実でした。

話は変わりますが、自分が委員長の時に女子部がBブロック昇格できて非常に嬉しかったです。練習ラウンドから終りまで女子ゴルフを見守ってこれたのは自分だけでもありますし、少しでも緊張をほぐしてあげようと努力した甲斐がありました。これからも立教大学体育会ゴルフ部を見守っていきたいと思います。ありがとうございました。

平成16年度新主将 ご挨拶

【 男子新主将 】

このたび、立教大学体育会ゴルフ部の主将を務めさせていただく事になりました田谷洋之です。

私は、大学からゴルフを始め、そのときはゴルフ部の中では一番下手で4年間のうちで試合に出られるようになるのかと心配に思っていたので、まさか自分がこのような責任ある役職に就くとは夢にも思っていませんでした。



3年 田谷 洋之

私が、ゴルフ部に入部してから見てきた先輩たちの主将姿といえば、常にスコアを出してチーム全体を引っ張るというものでした。しかし私には先輩たちのような実績が絶対的に足りないため、スコアだけでは引っ張りきれないときがあるかもしれません。ですから私は、スコアの面だけでなく、部活やゴルフに対する姿勢、学校生活の面でも自分の立場というものを考え、後輩たちの手本となるような行動をとりたいと思います。

今後のゴルフ部の目標としましては、やはりBブロックに返り咲くことあります。そのために、昨年の主力であった4年生の穴を埋めるために1年生から3年生まで日々練習に取り組んでいます。そのなかでの私の役割は、自分たちの代でそれができなかったとしても近いうちに立教大学がBブロックに昇格できるように若い世代を育てることだと思っています。

O B ・ O G の方々の期待に応えられるように現役一同がんばっていますので、これからもご支援、ご指導のほどよろしくお願ひします。

【 女子新主将 】

このたび、女子部主将を務めさせていただくことになり一言、挨拶をさせていただきます。



3年 原 千登勢

女子部は昨年9月、1打で優勝を逃した春の対抗戦の雪辱を果たし、2年ぶりにBブロック昇格を果たすことができました。勢いづいた反面、部員4人と人員不足に悩んでいるのが現状です。次の対抗戦では部員全員がレギュラーとなります。この状況の中、今いる4人がいかに短期間で技術を向上し、チーム一丸となってモチベーションを高めていくかが私の務めであると思っています。現状への不安もありますが、Bブロックで戦える喜びを常に抱き、ゴルフを楽しむことを第一に1年間励んでいきたく思っております。

O B ・ O G の方々には、日頃から暖かいご支援・ご声援を承り、心から感謝しております。本年度も、例年と変わらぬご指導いただけますよう宜しくお願ひいたします。

ニュース： ゴルフ部女子、体育会表彰受賞！

平成15年度関東大学女子秋季Cブロック対抗戦で優勝、来季はBブロックに復帰することになったゴルフ部女子は、去る1月6日に行われた2003年度立教大学体育会総会にて奨励賞を受賞しました。

立教小学校 スナッグゴルフ 第1回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ優勝を振り返る

体育会ゴルフ部OBの協力のもと、昨年度から本格的に立教小学校にてスナッグゴルフを体育の授業で教えてきました。そして今年も5月から授業で教え始めたその矢先に、スナッグゴルフの第1回全国大会が開催されることを知り、体育の責任者である西村先生にお願いし、出場に至ったわけあります。

参加資格は4年生までということでしたが、今年はちょうど4年生、5年生の授業を行っていることから、主だった選手選考を授業中に行いました。まずは8人を選び、その中から更に6人を選び試合に出る選手選考を行ったわけです。選手が決まった後は、放課後に空いている場所を利用して何度か練習を重ねてきました。キャリーで10ヤード飛ばすためにはこの位、20ヤードはこの位のバックスイング、そしてランがある…という具合に練習をしていったわけですが、立教小学校ではショットもアプローチもグラウンドが硬いため、お構いなしに球が転がってしまい、まるで感じがつかめないという問題にあたりました。公園で練習することも考えましたが、公共の施設でもあり、基本的にゴルフを行うことは難しいことから、芝の上ということで大学のラグビー部にお願いして、富士見グラウンドを借りて練習をさせてもらうなどの方法をとっていよいよ本番を迎えることになりました。

《 2003年7月5日 スナッグゴルフJGTOカップ 宍戸ヒルズカントリークラブ 》

遠くは沖縄の小学校も参加して午前中の予選が行われました。立教小学校の6人の選手は、教えたことを一つひとつ丁寧に守りながらプレーを続け、予選を26アンダーで難なくクリアしました。

そして迎えた決勝大会。そこで彼らには、ホールを重ねるごとに、いやショットを重ねるごとにレベルアップしていく姿を見る事ができました。子供の吸収力というのはすごいものがあることを痛感させられたわけで、結果は2位に13打差、スコアは予選をさらに上回る32アンダーでした。優勝の瞬間、人の目を全く気にしないで喜ぶ6人を見ていると、私は嬉しさと安堵感から身体から力が抜けていたことを覚えています。大学ゴルフ部での対抗戦優勝とはまた違った感じがありました。



日本サッカー界はここ数年、年を追うごとにより強い選手がフル代表となっています。その理由は中田、小野、稻本といった世代がジュニア時代やユース時代より注目され、世界の舞台で活躍してきたからであります。そこまで述べると大げさかもしれません、今回優勝した彼ら6人の内の半数はきっと中学、高校とゴルフを続けてくれるに違いありません。すでに立教池袋中学校にもゴルフ同好会が誕生いたしました。

今回の大会に出場した6人に限らず、授業で教えた240人の生徒の中には、「ゴルフって楽しいな！」と思う子供達がきっと何人かいて、今まで中学のクラブ活動として選択肢に入っていなかったゴルフ部も入部検討対象の中に入ってくれるに違いありません。そして将来、彼らの世代が大学生となった時、恐らく立教大学体育会ゴルフ部は最強のチームになると確信しています。そんな先の話ではありません。「セレクションもない立教がなんであんなに強いんだ？」「なるほど。小学校でゴルフの授業を受けてきた子たちが上がってきたのか…。」「あのJGTOカップの優勝メンバーが大学生になったのか！」8年後、Aブロックで活躍する彼らの姿を夢みております。



中島常幸プロと

監督 青木 克益（昭和63年卒）

平成 15 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会総会 議事録

平成 14 年 4 月 18 日(金) 於 八重洲俱楽部

平成 14 年度事業報告

平成 14 年	4 月 12 日	OB 会学年幹事会及び創部 45 周年記念祝賀会準備委員会
	4 月 26 日	総会及び創部 45 周年記念祝賀会 於 センチュリーハイアット東京
	6 月	立教小学校体育の授業で「スナッグゴルフ」指導 (四年生対象)
	7 月 1 日	学習院大学ゴルフ部創立 50 周年パーティー 於 ホテルオークラ
	8 月 5 日 ~ 9 日	夏季一般合宿 於 GC ゴールデンウッド
	9 月 2 日	関東八大学ゴルフ部懇親競技会 於 東名カントリークラブ
	9 月 11 日	体育会 OB 会各部懇親ゴルフ会 於 狹山ゴルフクラブ
	9 月 21 日	OB 東西対抗ゴルフ会 於 東京ゴルフ俱楽部
	9 月 27 日	OB 会学年幹事会
	10 月 9 日	関東八大学対抗ゴルフ会 於 霞ヶ関カンツリー俱楽部
	11 月 11 日	慶應大学ゴルフ部創立 80 周年パーティー 於 帝国ホテル
	11 月 16 日	OB 会ゴルフ会 於 茨城ゴルフ俱楽部
	12 月 11 日	OB 会常任幹事会
平成 15 年	1 月	会報発行
	2 月 28 日	OB 会常任幹事会
	3 月 10 日 ~ 14 日	春季一般合宿 於 富士 C.C. 笠間俱楽部

平成 14 年度収支決算報告 (次ページ 表 1 参照)

平成 15 年度事業計画

平成 15 年	4 月 18 日	総会及び懇親パーティー 於 八重洲俱楽部
	5 月末 ~	立教小学校体育の授業で「スナッグゴルフ」指導 (四、五年生対象)
	7 月末 ~	夏季一般合宿 (コース未定)
	8 月 4 日	関東八大学ゴルフ部懇親競技会 於 江戸崎カントリー俱楽部
	8 月 27 日	体育会 OB 会各部懇親ゴルフ会 於 狹山ゴルフクラブ
	9 月 20 日	OB 東西対抗ゴルフ会 於 東京ゴルフ俱楽部
	9 月	OB 会学年幹事会
	10 月 8 日	関東八大学対抗ゴルフ会 於 鷺之台カンツリー俱楽部
	10 月 ~ 11 月	OB 会ゴルフ会 (コース未定)
	12 月	OB 会常任幹事会
平成 16 年	1 月	会報発行
	2 月	OB 会常任幹事会
	3 月	春季一般合宿 (コース未定)

平成 15 年度収支予算案 (次ページ 表 2 参照)

その他

総務委員会 森山 奈美江 (平成元年卒)

OB 会 TOPICS

- 中島敬夫 OB 会副会長 (昭 46 卒) が、昨年 8 月セントラル G C にて開催された日本学生ゴルフ選手権の競技委員長を務めました。また、今年 4 月より関東学生ゴルフ連盟選任理事及び日本学生ゴルフ連盟常任理事に就任します。
- 鈴木正敏 OB 会幹事長 (昭 52 卒) が、昨年 6 月立教大学体育会 OB ・ OG クラブ表彰部長に就任しました。

表1 平成14年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支決算書

期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	4,683,057		45周年総会費	770,759	ホテル・景品代
会員会費（自振）	1,570,000	168名	現役補助金	500,000	
会員会費（現金）	580,000	63名	体育会OBクラブ	20,000	年会費
45周年総会	1,435,000		競技費	145,000	八大学コーチ・現役
預金利息	46			100,000	八大学OB対抗
				28,000	OB東西対抗
				47,000	体育会ゴルフ
				172,268	
				84,350	往復葉書含む
				44,310	
				110,000	学習院・慶應・日大
				110,150	
				3,034	
				198,450	学生用
				83,355	印刷発送費
				83,202	往復葉書含む
				244,272	スナッグゴルフ購入費
				100,000	5委員会
				5,423,953	
	¥8,268,103			¥8,268,103	

表2 平成15年度立教大学体育会ゴルフ部OB会収支予算案

期間：平成15年4月1日～平成16年3月31日

収入の部			支出の部		
費目	金額	備考	費目	金額	備考
前期繰越金	5,423,953		総会費	150,000	
会員会費	1,700,000		現役補助金	750,000	
預金利息	50		体育会OBクラブ	20,000	
			競技費	300,000	
			慶弔費	150,000	
			自振手数料	40,000	
			OB会ゴルフ大会	250,000	
			会議費	100,000	
			分科会補助	250,000	5委員会
			会報	100,000	
			雑費	100,000	
			小計	2,210,000	
			次期繰越金	4,914,003	
	¥7,124,003			¥7,124,003	

会計担当 松波 賴明（昭和46年卒）

OB会費納入の現状とお願い

現在、OB会費の納入に関しては、年1回（11月末）の口座自動引落しのシステムで集金させていただいております。しかし、現状はOB総数・約550名のところ189名の自動引落込金となっております。会費収入の不足は今後のOB会活動、とりわけ会員の皆様へのコミュニケーションおよび現役学生強化のための源泉資金の減少を招いております。

そこで、現状を改善するための施策の1つとして、「5年以上会費納入のない会員の方には、次期会費納入をいただくまで会報その他郵送物等の発送を見合わせる」旨、本年度より実施いたします。（OB会の情報についての情報は、体育会ゴルフ部ウェブサイトからご確認いただくようになります）

これらの経緯をふまえ、OB会費自動振り込み未登録のOB会員の皆様にはあらためて会費納入拡大のご協力をお願いする次第であります。

会計担当にご連絡頂くだけで、事務処理はすべて行います。気軽にお声をおかけください。

なお、OB会費は男性1万円・女性8千円・入会3年以内5千円となっております。

会計担当・連絡先

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-9 株式会社 松波 賴明（昭和46年卒）

電話 052-961-2225

平成 15 年度 OB会費自動振込納入者一覧表(敬称略) 自動振込にご登録いただき、ありがとうございました。

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
昭 32	粕谷 唯一	昭 40	池上 啓子	昭 45	原 篤	昭 51	櫻 秀和	昭 62	古屋 裕子	平 9	中山 京子
昭 33	長谷川 弘二	昭 41	明浦 克夫	昭 45	佐藤 勝彦	昭 51	大畠 栄之	昭 63	井上 剛志	平 9	川俣 奈央
昭 34	吉岡 正恒	昭 41	雨宮 久雄	昭 45	阿部 武	昭 51	城村 秀身	昭 63	川上 恭弘	平 9	北村 友子
昭 34	池田 謙二郎	昭 41	後閑 満之	昭 45	長堀 浩一	昭 51	望月 衛	昭 63	野口 治郎	平 9	平野 裕実
昭 35	久保田 起夫	昭 41	佐野 公胤	昭 45	木内 藤男	昭 52	鈴木 正敏	昭 63	青木 克益	平 10	石渡 一郎
昭 35	藤ヶ崎 瞳美	昭 41	白石 大史	昭 45	菅 真知	昭 53	小澤 省一	昭 63	長谷川 弘美	平 10	安部 真司
昭 36	小泉 直	昭 41	関口 雅章	昭 46	中島 敬夫	昭 53	藤田 明弘	平元	森山 裕之	平 10	近藤 将人
昭 36	柳 昭司	昭 41	関根 守夫	昭 46	稗田 研二	昭 54	飯田 洋	平元	金山 俊明	平 10	斎藤 吉宏
昭 36	星合 敏彦	昭 41	武笠 全一朗	昭 46	峰岸 裕行	昭 54	猪飼 武久	平元	森田 さえ子	平 10	鳴川 万希子
昭 36	遠藤 伸	昭 41	田中 章夫	昭 46	神尾 守人	昭 55	山崎 哲義	平元	森山 奈美江	平 10	宮腰 保志
昭 36	恩田 幸正	昭 41	野島 洋二	昭 46	城 立仁	昭 55	海老原 寿人	平 2	岡田 光史	平 11	根岸 瞳人
昭 36	金井 浩	昭 41	佐藤 玲恵子	昭 46	松波 賴明	昭 56	渡辺 哲也	平 2	近藤 寛樹	平 11	吉田 琢
昭 36	倉島 光一	昭 41	佐野 誠子	昭 46	山口 高	昭 56	矢部 徹也	平 2	廣瀬 義徳	平 12	新田 浩史
昭 36	八木下 省三	昭 42	原田 忠之	昭 47	保谷 厚一	昭 56	小浜 達也	平 2	乗附 和明	平 12	神田 好一郎
昭 37	林 孝	昭 42	松本 修	昭 47	稻川 一	昭 57	狩野 達男	平 2	内山 明子	平 12	越田 享
昭 38	佐藤 俊紀	昭 42	鈴木 良三	昭 47	永瀬 一雄	昭 57	山口 昇	平 2	大西 しづか	平 13	横倉 正人
昭 38	笠原 康宏	昭 42	西沢 好昭	昭 47	岩田 順子	昭 58	北口 博	平 3	春日 照貴	平 13	土橋 勝
昭 38	山田 紘一郎	昭 42	勝又 基夫	昭 48	小田 一行	昭 58	斎 孝浩	平 3	湯浅 康弘	平 13	吉井 庸之
昭 38	湯浅 紀男	昭 42	川田 太三	昭 48	木村 恭介	昭 59	今井 克典	平 3	伊藤 智子	平 13	鶴川 陽夫
昭 38	志村 輝雄	昭 42	檜山 圭彦	昭 48	浅井 隆	昭 59	山本 浩二	平 3	小石 織江	平 13	岡本 賢人
昭 38	加島 泰二	昭 43	田中 一成	昭 49	滝沢 光雄	昭 59	斎藤 正久	平 4	細谷 昭久	平 13	平本 麻里子
昭 38	伊藤 庸	昭 43	小山 博通	昭 49	相沢 正	昭 59	鈴木 淳也	平 4	山崎 泰志	平 14	鈴木 康友
昭 38	滝川 静子	昭 43	貝谷 忠彦	昭 49	野口 勝	昭 59	会田 美智弥	平 4	湯浅 吉博	平 14	中村 公太朗
昭 38	前田 啓子	昭 43	保坂 道子	昭 49	石井 定明	昭 59	入江 誠一	平 5	角田 岳	平 14	関根 篤丈
昭 39	武藤 一彦	昭 44	鈴木 伸雄	昭 49	平塚 徹夫	昭 59	増田 剛	平 6	上保 裕樹	平 14	朝野 照章
昭 39	村田 義昭	昭 44	村上 博典	昭 49	相沢 辰男	昭 59	加藤 智子	平 6	落合 和彦	平 14	大野 晃
昭 39	伊東 祐次	昭 44	加瀬 正彦	昭 49	坂田 一郎	昭 60	内藤 千織	平 7	飯田 健一	平 14	森 大介
昭 39	原 紀世子	昭 44	吉池 昭	昭 49	川島 幸夫	昭 61	松田 千代美	平 7	宮崎 リサ	平 14	大石 重子
昭 40	安西 久夫	昭 44	増田 智恵	昭 50	中島 久夫	昭 61	桑原 孝子	平 9	川俣 雅昭	平 14	田村 祥子
昭 40	金谷 輝雄	昭 44	檜山 弘子	昭 50	宮下 治也	昭 61	笠井 由紀子	平 9	角田 昌浩		
昭 40	野村 恭子	昭 45	木村 憲司	昭 50	須藤 敏之	昭 62	笹田 和典	平 9	平野 義三		
昭 40	石神 敬子	昭 45	小池 清次	昭 50	勝又 康夫	昭 62	野口 有加	平 9	藤井 靖		

(敬称略)

今年度も自動振込未登録の会員の皆様宛てに、2月から3月にかけてゴルフ部学生がOB会費を頂きにお伺いさせていただきます。その際に来年度以降の会費納入のための自動振込の申込用紙を持参いたしますので、ご記入の上、学生にお渡しいただくか下記までご郵送いただければ幸いです。何卒皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

郵送先・・・〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-20-9 (株)三晃社 松波 賴明

電話 052-961-2225

平成 15 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会コンペ

去る11月15日(土)立教大学体育会ゴルフ部の平成15年度O B会コンペが開催されました。昨年同様、若手のO B・O Gの皆様にご参加頂ける様、土曜日の開催とさせて頂きました。

名門の埼玉県嵐山カントリークラブ（埼玉県）を会場とし、当クラブ会員の伊藤先輩（昭和35卒）岡田先輩（平成2卒）をはじめ、諸先輩方の甚大なるご協力を頂戴し、昨年同様10組にも及ぶ皆様のご参加を募ることが出来ました。この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

さて、当日は昨年同様やや肌寒い気温でしたが、素晴らしいコースコンディションに恵まれ、ご参加頂きました約 30 名の O B ・ O G の皆様、7 名の現役学生には、日頃なかなかお会いできないご旧友の皆様や諸先輩方との交流を満喫して頂けたかと思います。優勝された海老原先輩（昭和 55 卒）や、ベストグロスを獲得された設楽先輩（昭和 53 卒）を筆頭に、パターとアプローチを得意とするショートゲーム巧者の皆様が好スコアを記録され、コンペでも上位の順位に名を連ねていらっしゃる結果となりました。

来年も今年以上に多くのO B・O Gの皆様に是非ご参集頂けますよう、開催時期の再検討も行い、早期に皆様にご案内させて頂く予定です。幹事一同、会員の皆様にご参加頂ける様お待ち申し上げております。

企画委員会 石渡 一郎（平成 10 卒）

順位表（敬称略）

順位	氏名	卒年	グロス	HDCP	ネット	順位	氏名	卒年	グロス	HDCP	ネット
優勝	海老原 寿人	昭 55	82	13.2	68.8	16	宮下 治也	昭 50	78	3.6	74.4
2	関根 守夫	昭 41	81	12.0	69.0	17	岡田 光史	平 2	77	2.4	74.6
3	菅 真知	昭 45	80	9.6	70.4	18	井沢 俊和	昭 55	93	18.0	75.0
4	稻川 一	昭 47	78	7.2	70.8	19	森山 祐之	平元	85	9.6	75.4
5	設楽 守廣	昭 53	75	3.6	71.4	20	遠藤 大介	平 12	84	8.4	75.6
6	横倉 正人	平 13	81	9.6	71.4	21	田中 章夫	昭 41	83	8.0	75.0
7	鈴木 正敏	昭 52	78	6.0	72.0	22	矢作 圭翼	平 15	88	12.2	75.8
8	伊藤 祐守	昭 35	90	18.0	72.0	23	佐野 公胤	昭 41	81	5.0	76.0
9	滝澤 光雄	昭 49	81	8.4	72.6	24	神尾 守	昭 46	93	16.8	76.2
10	佐野 誠子	昭 41	86	13.2	72.8	25	川上 恭弘	昭 63	89	12.0	77.0
11	須藤 敏之	昭 50	79	6.0	73.0	26	丸山 大輔	平 15	88	10.8	77.2
12	北口 博	昭 58	83	9.6	73.4	27	山口 高	昭 45	94	16.8	77.2
13	青木 克益	昭 63	81	7.2	73.8	28	森山 奈美江	平元	98	19.2	78.8
14	石渡 一郎	平 10	80	6.0	74.0	29	小石 鐵江	平 3	106	25.2	80.8
15	鈴木 康友	平 14	79	4.8	74.2	30	北村 友子	平 9	113	31.2	81.8

この会報は皆様からお振込みいただいたOB会費によって製作されています

平成 15 年度立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

発行者：立教大学体育会ゴルフ部OB会

事務局：東京都豊島区西池袋三丁目 立教大学内

発行人：佐野 公胤 編集人：青木 克益、角田 岳

<http://www2.odn.ne.jp/rikkyo-golf/>

(立教大学体育会ゴルフ部ウェブサイトにて、ゴルフ部の最新情報をご覧ください。)